

令和6年度 河合町総合計画策定審議会 第3回会議 会議録（概要）

日 時：令和7年2月7日（金）15時から17時

場 所：役場3階第6会議室

出席者：下記のとおり

●河合町総合計画策定審議会委員 （敬称略：五十音順）

	氏 名	団体・職名
1	岩崎 勝重	公募委員
2	岡田 康則	河合町議会 議員
3	梶原 良雄	公募委員
4	坂本 博道	河合町議会 議員
5	杉山 晋平	天理大学社会教育学科 准教授
6	中山 智子	大和大学白鳳短期大学部 学長
7	福本 優子	河合町教育委員会 委員
8	堀内 秀悟	河合町都市計画審議会 委員
9	村田 雅信	公募委員

●河合町（事務局）

総務部 部長	上村 卓也
政策調整課 課長	岡田 健太郎
政策調整課 課長補佐	林 嘉明
政策調整課 主事	浦西 泰輔

会議要旨：下記のとおり

1 開会

2 パブリックコメント結果概要

・事務局より説明（資料１）

委員意見
● 回答をもう少し具体的に書くことができないか。 ● 計画案は、他の市町村と同じような内容になっており、もっとメリハリをつけて河合町らしさを出せないか。 ● 現状河合町は厳しい財政状況である。経常収支比率について記載するなど、財政問題について総合計画でもっと触れるべきではないか。 ● 駅前の開発について、総合計画と都市計画マスタープランの整合性に注意しながら踏み込んだ表現にすべき。 ● 実施計画の具体的な進め方を記載してはどうか。 ● 総合計画は方向性を示すことも重要だが、具体的な将来像が見えるようにすべき。 ● 総合戦略の位置付けについても説明が必要ではないか。 ● 計画期間を５年とする理由を別の表現にすべき。 ● 計画案を見れば、町ではいろいろなイベントがなされていることがわかる。目標値に達成するためには、効果的な周知が必要である。 ● 周知を充実させることで、町民に河合町らしさを感じてもらえたり、町内外問わず大勢の方にイベントに参加してもらうことで財政にとってもプラスに働いたりするのではないか。 ● 各担当課において、計画案の何が達成できて何が達成できなかったのかを明確に分析し、住民にとってわかりやすい形で周知することが必要である。 ● 計画案では６つの基本方針を示しているが、「〇〇をする」など、何か１つを明確に打ち出すのはどうか。 ● 計画案は町の全体的なことが書かれているので、町民にとって、とっつきにくくなっている。何かに絞った書き方ができればよい。 ● 計画案をまとめる過程で、町民の意思がどれだけ反映されてきたのかを

示すことが重要である。

- ワークショップやタウンミーティングでどんな意見が出て、出た意見がどのように計画案に反映されているのか見えづらいので、何らかの形で示すべき。
- 「検討している」という記載だけではなく、今までどんな検討をしていたかを示すことも重要である。

3 総合計画（案）

- ・事務局より説明（資料２）

委員意見
● P D C Aサイクルによる進行管理について、具体的に何を指すのか示すのはどうか。 ● 計画を作っただけで終わらないように、広報やＨＰで周知するなど、P D C Aサイクルを見える化することが必要である。 ● ６ページのP D C Aサイクルの表に、各項目が具体的に何を示すのか追記してはどうか。 ● 注釈をつけるなどして農業産出額のグラフを掲載してはどうか。 ● ５９ページの指標で、「ＩＣＴを効果的に活用する授業ができた教員の割合」は、今回の到達度を計る指標として適当ではないのではないか。

4 その他

- ・町ホームページにて議事録を公開する
- ・今回の会議を踏まえて、庁内で最終調整した総合計画（案）を令和７年３月議会に上程する

5 答申

- ・中山会長から町長に答申書提出

6 町長挨拶

7 閉会